

三陸沿岸道路 宮古田老道路 地域住民60名による現場見学会

概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路」は、宮古市松山（宮古中央IC）から宮古市田老字小堀内を結ぶ延長2.1kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時の緊急輸送路としての機能が期待されています。

この度、平成32年度（一部平成29年度）開通に向け事業中の宮古田老道路において、「（仮称）山口第2トンネル（延長2.258m）」の工事について、地元2自治会（宮園自治会・山口五丁目自治会）の方々による現場見学会を開催いたしました。

三陸沿岸道路 宮古田老道路 地域住民60名による現場見学会 開催状況

実施日時：平成27年8月1日（土）9：30～

実施場所：（仮称）山口第2トンネル



▲トンネル工事について学習



▲トンネル内を見学



▲現場内を見学しながらトンネル坑口へ



▲山口第2トンネル切羽の前で記念撮影